

メキシコ 官民ミッション

2019年8月



第6回メキシコ日系人医療セミナーでのフォトセッション

2019年8月、日本の医療機器・サービスの認知度向上・販売の促進等を目的とし、メキシコ合衆国へ官民ミッション団を初めて派遣した。

当該国においては、2012年以来、医療機器について日本の薬事登録制度の同等性が認められており、医療機器導入の円滑化が図られている。

◆官民ミッションの概要

期間：2019年8月8日(木)～10日(土)

場所：メキシコ合衆国・メキシコシティ

参加者

【団長】小松 研一 MEJ副理事長

【医師】秋山 稔 MEJ理事

【参加企業・団体（5社・五十音順）

オリンパス株式会社、テルモ株式会社、日本

光電工業株式会社、PHC株式会社（海

外子会社：Ascensia Diabetes Care

Holdings AG）、富士フイルム株式会社

【政府機関】経済産業省、在メキシコ日本

大使館、JETROメキシコ事務所、JICAメキ

シコ事務所

【関係団体】日本医師会、メキシコ日系人

医師会、メキシコ日本医療財団、ラテンア

メリカ内科学会、TAネットワーク

◆各プログラム概要

健康政策シンクタンクへの訪問

8月8日の午前、メキシコの健康政策シンクタンク「Fundación Mexicana para la Salud A.C. (FUNSALUD)」を訪問した。Executive PresidentのMr. Hector Valle Mestoによるヘルスケアマーケットの最新動向についてのプレゼンを聴講し、日本側は日本の医療事情についての紹介を行った。双方から多くの質問が挙がるなど、活発な意見交換が行われた。



Mr. Valleによる講演

2019年度 メキシコ官民ミッション ～日本の医療機器・サービスの認知度向上～

Instituto Nacional de Cardiología (INC)への訪問

同日正午、保健省系列病院の一つであるINC(国立循環器専門病院)を訪問した。Director GeneralのDr.Jorge Gaspar Hernándezをはじめ、カテーテル室等各課において医療従事者との意見交換を行い、施設見学を行った。



施設の説明を受ける参加者

Hospital Angeles Metropolitano への訪問

同日午後、私立総合病院チェーン(Hospital Angeles)のMetropolitano病院を訪問した。Director GeneralのDra.Ma.Del Carmen Cruz Toledanoをはじめ、多数の医療従事者を前に参加企業によるプレゼンを実施。併せて日本の医療事情や本ミッション団の活動についても説明を行い、相互理解の促進を図った。



講堂での歓迎レセプションセレモニーの様子

日系人医療セミナーへの参加・出展

8月9日・10日は、メキシコ日系人医師会・メキシコ日本医療財団が主催する第6回日系人医療セミナーに参加した。本セミナーは、専門医、家族医、研修医等の様々な分野で活躍する日系人医師の知見を学び、医療機器等の最新技

術についての知識習得を目的として企画されている。登壇する医師は日系人/日本人に限定されているが、中南米一帯で著名な医師やメキシコ保健省高官も出席している。

本年は、野口英世博士が黄熱病研究のためにメキシコを来訪して100周年を迎えたことを記念し、日本医師会より横倉義武会長、ニューヨーク野口英世記念会より本間俊一会長、野口英世アフリカ賞委員会より黒川清座長による特別講演も行われた。

セミナーの中盤では、経済産業省ヘルスケア産業課川口俊徳企画官による挨拶に続き、参加企業によるプレゼンを実施。回診用X線撮影装置や血糖値測定器、内視鏡検査機器等、来場者の高い関心を集めた。



参加企業によるプレゼン

ネットワーキングランチの開催と協力 覚書調印

9日のセミナー終了後には、8日に訪問したFUNSALUDや病院他、PAHO(汎米保健機構)やIDB(米州開発銀行)代表者とのネットワーキングランチを開催。PAHOによる糖尿病に関する講演は、日墨双方の参加者の好評を得ていた。

また、FUNSALUD—MEJの間では、相互協力についての覚書を取り交わし、今後の連携活動を約束した。



(左) Mr. Valle (右) 小松副理事長による署名の様子